

新規検査項目追加のお知らせ (遺伝子ストレステスト)

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、弊社では下記項目につきまして、検査の受託開始させていただくことになりましたのでご案内申し上げます。先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

- 実施日 2018年6月18日(月) 検体発送分より
- 新規受託開始項目

テロメアテストでは、テロメア長＝遺伝子強度、Gテール長＝遺伝子疲労度をセットで検査結果としてご報告しておりましたが、Gテール長＝遺伝子疲労度のみをご報告する「遺伝子ストレステスト」の受託が可能となりました。

検査項目名	検体量	容器	保存	所要日数	実施料判断料	検査方法	備考
遺伝子 ストレステスト	5mL	A	冷蔵	21営業日	保険 未収載	HPA法	

■ 検査容器

容器	採血管種類	キャップカラー	採血量	採血管サイズ
A	EDTA-2K (テルモ：VP-DK050K)		紫	5 mL 13.2 x 78 mm

■ 本件に関するお問い合わせ

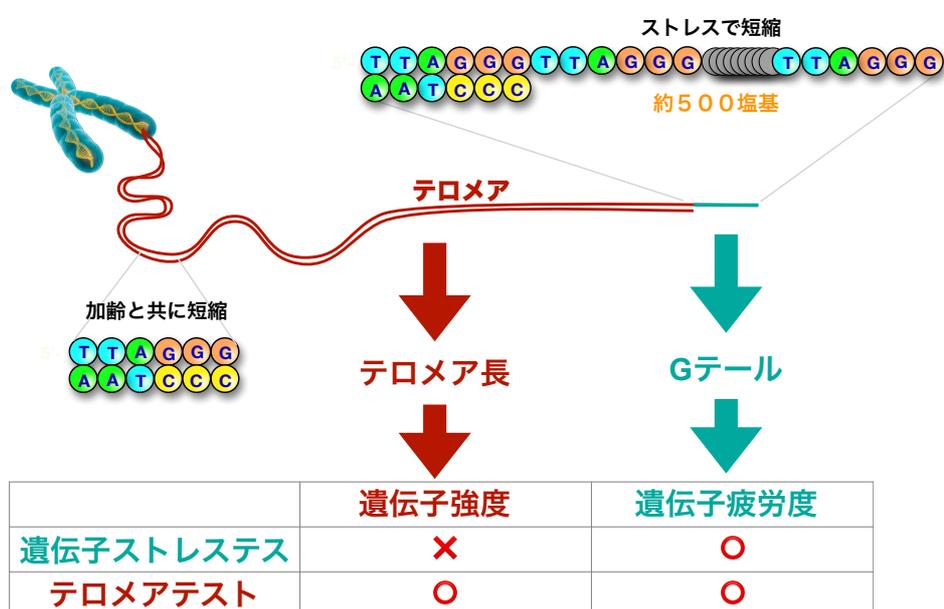
営業部（月曜日～金曜日：9時～18時）：03-6386-3657

■ 遺伝子ストレステスト

遺伝子疲労度を測る対象となるのが、テロメアの端にある「Gテール」。この「Gテール」が短縮すると、疾患が発症しやすい状態になります。しかしながらこのGテールは、生活環境などの改善によって、伸ばすことができます。

つまり、遺伝子ストレステスト（もしくはテロメアテスト）で「遺伝子疲労度」をモニターしながら医師がアドバイスを行うことで、疾患にかかりにくい状態を維持でき、適切な予防や対策により健康長寿が目指せるのです。Gテールの長さが測定できるのは、世界でもミルテルだけです※1。

※1：2018年4月現在



■ 測定方法

G-tail telomere HPA (Nature Method 2005)

■ 参考文献

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| 1. 腎疾患 | Clin J Am Soc Nephrol, 2014 |
| 2. 血管内皮機能 | EBioMedicine (Lancet/Cell) 2015 |
| 3. 心疾患 | EBioMedicine (Lancet/Cell) 2015 |
| 4. 認知症 | EBioMedicine (Lancet/Cell) 2015 |

■ 遺伝子ストレステスト報告書例

添付資料1をご参照下さい。

ミルテル検査報告書

氏名	XXXX XXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
性別 年齢	男性 41歳	医療機関名 XXXXXXXXXXXXXXXクリニック
カルテNo.	XXXXXXXXXXXX	診療科/病棟 XXXXXXX
材料	XX	提出医 XXXXXXX
ミルテル検査ID	XXXXXXXXXXXX	受付日 XXXX 年 XX 月 XX 日
依頼元検査センターID	XXXXXXXXXXXX	ミルテル受領日 XXXX 年 XX 月 XX 日
検査責任者	XXXXXX	報告日 XXXX 年 XX 月 XX 日

遺伝子ストレス検査結果

テロメアテストは「未病の状態」を検査して、病気にならないように適切に「予防」を行うための検査です。寿命を測定する検査ではありませんのでご安心ください。

遺伝子疲労度 12

環境的な要因による遺伝子への負荷から算出しています
日々受ける様々なストレスによって数値は変動します



検査で何がわかるの？

Gテールの長さ(遺伝子の疲労度)から「健康な状態」に近いのか、もしくは「疾患発症の状態」に近いのかわかります。

Gテール長(遺伝子疲労度)の測定

検査の特徴

自分が「老化が原因の疾患にかかりやすい(かかりづらい)体質なのか?」「健康な状態なのか?疾患発症の状態なのか?」という未病状態を知るための検査が、ミルテルのテロメアテストです。検査結果を基に体質や状況に合わせた生活習慣や食事の改善を図ることで、老化や加齢に伴って起こる疾患を予防していくことを目的としています。

テロメアとは、染色体の端にある構造体のことで、染色体の中にある重要な遺伝子情報を守っています。細胞の老化を決める重要な構造体であることから、加齢による疾患にも関連しています。遺伝子ストレス検査では、この「テロメア」を解析し、日々受けるストレスによる「遺伝子の疲労度(テロメア疲労度)」を測定します。

テロメア疲労度を測る対象となるのが、テロメアの端にある「Gテール」。この「Gテール」が短縮すると、疾患が発症しやすい状態になります。しかしながらこのGテールは、生活環境などの改善によって、伸ばすことができます。つまりテロメア検査を受ければ、「遺伝子疲労度」をモニターしながら医師がアドバイスを行うことで、疾患にかかりにくい状態を維持でき、適切な予防や対策により健康長寿が目指せるのです。Gテールの長さが測定できるのは、世界でもミルテルのテロメアテスト、ただひとつです。

※ テロメアテストでは、これまでの生活習慣がわかる「遺伝子強度」をも測定できます。

検査履歴 ※検査時における結果なので、継続的に検査することをお勧めします。

受付日	ミルテル検査ID	年齢	遺伝子疲労度